

平成21年8月期 第1四半期決算短信

平成21年1月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 創通
 コード番号 3711 URL <http://www.sotsu-co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯浅 昭博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 出原 隆史
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月14日

TEL 03-3248-0311

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第1四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	3,465	—	517	—	528	—	179	—
20年8月期第1四半期	3,889	19.2	619	40.4	663	51.0	333	45.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	4,217.36	—
20年8月期第1四半期	7,585.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第1四半期	13,643	10,894	78.4	252,393.04
20年8月期	14,660	11,342	76.2	260,999.34

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 10,698百万円 20年8月期 11,166百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	—	—	6,000.00	6,000.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	6,000.00	6,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,500	△14.5	1,020	△21.9	1,030	△25.3	550	△26.6	12,855.87
通期	16,200	1.6	1,900	2.9	1,940	△4.2	1,070	1.0	25,010.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 - ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年8月期第1四半期	43,000株	20年8月期	44,000株
② 期末自己株式数	21年8月期第1四半期	613株	20年8月期	1,218株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年8月期第1四半期	42,596株	20年8月期第1四半期	44,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機により、大手金融機関の経営破綻が起きる等、世界金融市場の混乱から株価の下落、急激な円高の進行が発生いたしました。それにより実体経済に与える影響も深刻化し、企業収益の低迷から、設備投資の減速、雇用不安の表面化、個人消費の低迷等、景気は急激に悪化して推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、中核事業であるアニメーション番組のプロデュースにおいて、より良い作品の企画・放送枠の提案により、新たなスポンサー開拓を含めた営業活動に注力するとともに、新たな二次利用の市場を開拓し、アニメーションキャラクターの著作権ビジネスを拡大するという方針のもと、事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は3,465百万円(前年同期比10.9%減)、営業利益517百万円(前年同期比16.5%減)、経常利益528百万円(前年同期比20.3%減)、四半期純利益179百万円(前年同期比46.2%減)となりました。事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業におきましては、10月の番組改編時において、大型プロジェクトである「機動戦士ガンダム00(ダブルオー)」2ndシーズンがスタートし、制作出資を行った「ゴルゴ13」「しゅごキャラ!!どきっ」「ちびアニ劇場」の他2番組、長寿番組の「それいけ!アンパンマン」等のプロデュース・取扱を行ってまいりました。

また、「スーパーロボット大戦」シリーズ、「機動戦士ガンダム」シリーズを中心としたキャラクター商品の広告収入・イベントの開催は堅調に推移いたしました。

就職情報事業を行う子会社・株式会社ジェイ・ブロードについては、新卒採用環境の急激な悪化及び前年の薬科大学6年制移行による特需の反動減により、前年同期に比べ採用広告収入が大きく減少いたしました。

この結果、メディア事業の売上高は2,819百万円(前年同期比11.7%減)、営業利益210百万円(前年同期比37.7%減)となりました。

(ライツ事業)

ライツ事業におきましては、制作出資を徐々に増加させ、著作権の獲得に努めた効果により、「ひぐらしのなく頃に」シリーズ・「モノクロームファクター」・過去のロボット作品等の「ガンダム」シリーズ以外の著作権収入及び配分金収入については増加したものの、個人消費低迷の影響から年末商戦に向けた商品化権による著作権収入は全般的に低調な結果となりました。

この結果、ライツ事業の売上高は582百万円(前年同期比10.7%減)、営業利益338百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業におきましては、読売巨人軍の日本シリーズ進出等の影響により球団グッズの売上高が前年同期に比べ大きく伸長いたしました。

この結果、スポーツ事業の売上高は62百万円(前年同期比47.4%増)、営業損失7百万円(前年同期は営業損失10百万円)となりました。

上記文中における前年同期比につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,016百万円減少し、13,643百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少750百万円及び投資有価証券の減少658百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ568百万円減少し、2,749百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少321百万円及び未払法人税等の減少306百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ447百万円減少し、10,894百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少196百万円及びその他有価証券評価差額金の減少298百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ750百万円減少し、7,147百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は433百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益405百万円、売上債権の増加額211百万円、仕入債務の減少額321百万円及び法人税等の支払額506百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は30百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入27百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は347百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出92百万円及び配当金の支払額256百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

概ね当初予想どおりに推移しており、平成20年10月10日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,147,260	7,897,303
受取手形及び売掛金	2,321,709	2,110,637
商品	365	353
仕掛品	28,367	31,661
貯蔵品	9,700	10,552
繰延税金資産	115,417	132,490
その他	798,316	838,050
貸倒引当金	△129,206	△125,938
流動資産合計	10,291,930	10,895,111
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	65,120	66,458
車両運搬具(純額)	4,881	5,449
工具、器具及び備品(純額)	20,026	21,257
土地	322,711	322,711
有形固定資産合計	412,739	415,877
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,053,844	2,712,752
繰延税金資産	462,253	217,468
その他	318,174	322,267
投資その他の資産合計	2,834,273	3,252,488
固定資産合計	3,352,058	3,765,178
資産合計	13,643,989	14,660,290

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,595,213	1,916,327
短期借入金	82,200	74,000
未払法人税等	205,863	511,922
賞与引当金	49,800	46,114
その他	299,858	254,919
流動負債合計	2,232,936	2,803,284
固定負債		
退職給付引当金	67,328	65,477
その他	449,436	449,436
固定負債合計	516,765	514,914
負債合計	2,749,701	3,318,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,750	414,750
資本剰余金	391,240	498,747
利益剰余金	10,290,375	10,486,737
自己株式	△141,396	△275,791
株主資本合計	10,954,968	11,124,444
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△256,784	41,629
評価・換算差額等合計	△256,784	41,629
少数株主持分	196,104	176,016
純資産合計	10,894,287	11,342,090
負債純資産合計	13,643,989	14,660,290

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
売上高	3,465,554
売上原価	2,636,617
売上総利益	828,936
販売費及び一般管理費	311,889
営業利益	517,046
営業外収益	
受取利息	794
受取配当金	3,715
持分法による投資利益	4,360
投資事業組合運用益	6,839
その他	2,386
営業外収益合計	18,095
営業外費用	
支払利息	371
支払手数料	3,028
上場関連費用	3,139
営業外費用合計	6,538
経常利益	528,603
特別利益	
投資有価証券売却益	140
特別利益合計	140
特別損失	
固定資産除却損	16
投資有価証券評価損	123,330
特別損失合計	123,346
税金等調整前四半期純利益	405,397
法人税、住民税及び事業税	205,492
法人税等調整額	△6,479
法人税等合計	199,013
少数株主利益	26,741
四半期純利益	179,642

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	405,397
減価償却費	10,578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,268
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,685
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,851
受取利息及び受取配当金	△4,509
支払利息	371
持分法による投資損益(△は益)	△4,360
投資有価証券評価損益(△は益)	123,330
売上債権の増減額(△は増加)	△211,072
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,133
仕入債務の増減額(△は減少)	△321,114
その他	56,887
小計	68,447
利息及び配当金の受取額	4,464
利息の支払額	△370
法人税等の支払額	△506,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	△433,714
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,885
無形固定資産の取得による支出	△160
投資有価証券の取得による支出	△300
投資有価証券の売却による収入	27,300
その他	6,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	30,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,200
自己株式の取得による支出	△92,426
配当金の支払額	△256,680
少数株主への配当金の支払額	△6,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△347,289
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△750,042
現金及び現金同等物の期首残高	7,897,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,147,260

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成20年11月30日)

	メディア事業 (千円)	ライツ事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,819,945	582,692	62,915	3,465,554	—	3,465,554
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,819,945	582,692	62,915	3,465,554	—	3,465,554
営業利益又は営業損失(△)	210,121	338,471	△7,149	541,443	△24,396	517,046

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な品目

- (1) メディア事業……テレビ番組提供・テレビ広告・アニメーション作品制作・採用広告
- (2) ライツ事業……商品化権・ビデオ化権・番組販売権
- (3) スポーツ事業……球団グッズ販売・球団スポンサード・球場看板広告

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成20年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成20年11月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(1) 自己株式の取得

当社は、平成20年9月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第1四半期連結会計期間において普通株式395株を取得しました。この結果、当第1四半期連結会計期間において自己株式が92,426千円増加しております。

(2) 自己株式の消却

当社は、平成20年9月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を消却することを決議し、平成20年9月10日付で普通株式1,000株を消却しました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が107,507千円、利益剰余金が119,313千円、自己株式が226,820千円減少しております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年9月1日至平成19年11月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,889,816
II 売上原価	2,973,991
売上総利益	915,825
III 販売費及び一般管理費	296,480
営業利益	619,344
IV 営業外収益	51,112
V 営業外費用	7,061
経常利益	663,395
VI 特別利益	42,591
VII 特別損失	34,621
税金等調整前四半期純利益	671,365
法人税、住民税及び事業税	310,843
法人税等調整額	△12,297
少数株主持分	39,042
四半期純利益	333,777

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年9月1日 至 平成19年11月30日)

	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	671,365
減価償却費	9,761
賞与引当金の増加額	19,899
退職給付引当金の増加額	856
貸倒引当金の増加額	1,959
受取利息及び受取配当金	△50,701
固定資産除却損	8,518
売上債権の増加額	△484,107
たな卸資産の減少額	4,706
前渡金の増加額	△422,670
仕入債務の減少額	△14,464
未払消費税等の増加額	15,312
その他	14,292
小計	△225,270
利息及び配当金の受取額	50,667
法人税等の支払額	△284,994
営業活動によるキャッシュ・フロー	△459,598
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,472
有形固定資産の売却による収入	1,485
無形固定資産の取得による支出	△7,880
投資有価証券の取得による支出	△21,990
投資有価証券の売却による収入	384,265
その他	△23,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	323,583
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△219,937
少数株主への配当金の支払額	△2,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222,490
IV 現金及び現金同等物の減少額	△358,505
V 現金及び現金同等物の期首残高	6,170,342
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,811,836

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成19年9月1日至平成19年11月30日)

	メディア事業 (千円)	ライツ事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,194,671	652,456	42,688	3,889,816	—	3,889,816
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,194,671	652,456	42,688	3,889,816	—	3,889,816
営業費用	2,857,455	339,618	53,177	3,250,250	20,221	3,270,472
営業利益又は営業損失(△)	337,216	312,838	△10,488	639,566	△20,221	619,344

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な品目

- (1) メディア事業……テレビ番組提供・テレビ広告・アニメーション作品制作・採用広告
- (2) ライツ事業……商品化権・ビデオ化権・番組販売権
- (3) スポーツ事業……球団グッズ販売・球団スポンサード・球場看板広告

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成19年9月1日至平成19年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成19年9月1日至平成19年11月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

該当事項はありません。

② 受注実績

該当事項はありません。

③ 商品仕入実績

当第1四半期連結会計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)
スポーツ事業 (千円)	24,378

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)
メディア事業 (千円)	2,819,945
ライツ事業 (千円)	582,692
スポーツ事業 (千円)	62,915
合計 (千円)	3,465,554

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社バンダイ ナムコゲームス	431,688	12.5
株式会社バンダイ	407,912	11.8

3. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。